

# 子どもたちの先生として、 心の声に耳を傾ける



どんなときも、笑顔は忘れない

「アットホーム」。月並みだが、この職場を一言で表すとしたら、私はそう答える。

きっかけは、大学2年の夏に参加した園の見学会。右も左も分からない私を、温かく迎えてくれた先生たち。子どもたちもとても楽しそうで、心の距離が近い。規模が大きくないからこそできる、手の行き届いた保育に魅力を感じ、就職を決めた。

1年目は、未満児クラスの副担任を務めた。子どもたちにとって、先生は先生。新人扱いはしてもらえない。一人一人、性格や成長が違つたため、何を基準に子どもたちに教えればいいのか分からない。自分の未熟さに悩まされていた。

そんなとき、手を差し伸べてくれたのは先生たちだった。「保育に正解はない」「完璧でなくていいよ」。そんなアドバイスで、強ばった心がほぐれていった。

「大事なのは、心の声を聴くこと」。悩む私を解ってくれた先生たちから、子どもの想いに寄り添うことの大切さを教



## 秋田 華奈

2019年入社。  
現在は年少児「りんご組」の担任。  
休日は、友人とカフェや買い物を楽しむ。

幼保連携型認定こども園 各務保育園

【業種】保育所

509-0104  
各務原市各務おがせ町4-128-1

<http://nagayagakuen.ac.jp/index.html>



わった。

0〜6歳の期間は、人間の根本を育む大切な時期。責任を感じるが、今は、そこに携われる喜びの方が大きくなった。「先生、また明日ね」。そう言ってくれる子どもたちの笑顔が、何よりうれしい。

今年度からは主担任。忙しさも責任も、去年とは大きく違つ。それでもきくと、やり遂げられる。今の私には、子どもたちの「想い」が聴けるのだから。